

「2025 年度 体育学学位プログラム修士論文抄録」 提出時の確認書

体育学学位プログラム研究促進委員会委員長 殿

学籍番号 _____

氏名（記名）_____

私は、抄録原稿の作成に際し、作成要領に従って作成したことを確認いたします。

以下の全てのチェックボックスにチェック（☑）を入れてください。

- ひな形を使用して作成しました。
- A4 版 3 枚以上 4 枚以内で作成しました。
- 全て白黒で作成しました。
- 「目的（緒言、はじめに等）、方法（材料と方法等）、結果、考察及び必要に応じて結論」あるいは「目的（緒言、はじめに等）、研究 1 ……、研究 2 ……、総合考察」など、各領域の修士研究論文の章構成に応じての順に記載しました。

【和文で執筆した場合】※英文で執筆した場合は【英文で執筆した場合】にチェック（☑）。

- 「和文タイトル」「和文サブタイトル」は『明朝体、18 ポイント』の活字を用い、原稿の中央に配置（センタリング）しました。
- 「氏名（和文）」は、『ゴシック体、14 ポイント』を用い、姓と名の間を半角あけ、センタリングしました。
- 「所属学位 P（和文）」は、『明朝体、10 ポイント』を用い、センタリングしました。
- 「指導教員名（和文）」は、『明朝体 10 ポイント』を用いて、「指導教員」と「指導教員氏名」の間に半角をあけ、かつ、姓と名の間を半角スペースあけて記し、その全てをセンタリングしました。主指導教員（実質の指導教員）と研究指導教員が異なる場合は、「主指導教員氏名 研究指導教員氏名」の順に全角スペースをあけて記しました。
- 「欧文タイトル」「欧文サブタイトル」は、『Times あるいは Times New Roman, 10point, Bold』を使用し、センタリングしました。最初の一文字のみ大文字、後は固有名詞以外小文字としました。
- 「欧文氏名」は、『Times あるいは Times New Roman, 10.5point, Bold』を使用して、センタリングしました。Given name を先に記し、given name の最初の一文字と FAMILY NAME は大文字としました。
- 「欧文抄録」は、約 200 語程度までとし、『Times あるいは Times New Roman, 10point, Bold』を用い、左右に 10 mm インデントを設定し、両端揃えで書きました。
- 「本文」は、『明朝体、10 ポイント』を用い、論文抄録見本の指示に従って二段組みで記載しました。太文字等の修飾文字を用いていません。ただし節タイトルは『ゴシック体、10 ポイント』とし、【】ではさみました。
- 「図表の説明文」は、和文の場合には、『ゴシック体、9 ポイント』を用いました。図のタイトルは図の下部、表のタイトルは表の上部に記載しました。
- 紙媒体でも確認しました。

【英文で執筆されている場合】※和文で執筆した場合は【和文で執筆した場合】にチェック（☑）。

- 「英文タイトル」「英文サブタイトル」は『Times あるいは Times New Roman, 18point』の活字を用い、原稿の中央に配置（センタリング）しました。
- 「氏名（英文）」は、『Arial, 14 point』を用い、姓と名の間を半角あけ、センタリングしました。Given name を先に記し、given name の最初の一文字と FAMILY NAME は大文字としました。
- 「所属学位 P（英文）」は、『Times あるいは Times New Roman, 10 point』を用い、センタリングしました。
- 「指導教員名（英文）」は、『Times あるいは Times New Roman, 10 point』を用い、「Academic Supervisor」と「指導教員氏名（英文）」の間に「:」（コロン）と半角スペースを設けて記し、その全てをセンタリングしました。主指導教員（実質の指導教員）と研究指導教員が異なる場合は、「Academic Supervisors: 主指導教員氏名（英文） and 研究指導教員氏名（英文）」の順に記す。Given name を先に記し、Given name の最初の一文字と FAMILY NAME の全てを大文字としました。
- 「Abstract」は、約 200 語程度までとし、『Times あるいは Times New Roman, 10point, Bold』を用い、左右に 10 mm インデントを設定し、両端揃えで書きました。
- 「本文」は、『Times あるいは Times New Roman, 10 point』を用い、論文抄録見本の指示に従って二段組みで記載しました。太文字等の修飾文字を用いていません。ただし節タイトルは『ゴシック体, 10 ポイント』とし、【】ではさみました。
- 「図表の説明文」は、和文の場合には、『Arial, 10 point』を用いました。図のタイトルは図の下部、表のタイトルは表の上部に記載しました。
- 紙媒体でも確認しました。

2026 年 月 日

上記の通り作成したことを確認しました。

主指導教員（署名）_____